2025年6月28日

春翔 佐賀 若雲が7敗

紙相撲新聞

第165回本場所
中日～七日目号

編集・発行
日本紙相撲協会

3横綱ら12力士が一敗、二敗に犇く
大神楽は悪癖が出て連敗、二度目の休場に

【第百六十五回本場所中日～七日目】

まるで梅雨明けを思わせる溶けるような暑さのなか6月28日、幕内に十両の中日、七日目と幕下以下の二日目、三日目の取り組みが練馬国技館で取り行われた。

五日目までを取り終えてただひとり全勝だった平幕の若柱が連敗し、横綱春ノ翔、平幕の佐賀ノ海、若雲山が1敗を守り3力士が先頭に立ち、若ノ嶋ら2敗の9力士が追う展開となった。

↑七日目、春ノ翔は四季嶋の出足を止めると左を差して一気に寄り切り6勝目。1敗を守り、第151回場所以来5年ぶりの優勝に意欲を示す。

↓新入幕の若雲山は期待の大石丸、音柱を差し置いての大活躍。ここまで全勝の若柱との対戦も制して優勝戦線に踏みとどまった。

七日目にして優勝争いの先頭に立った春ノ翔。三日目の初顔の西勢里相手に不覚を取ったが、それ以外の取り組みでは立ち会いから攻め込む横綱相撲で好調時を思わせる活躍。

中日の綱乃花戦でも立ち会いから右を押っ付け攻め込み、土俵中央でのど輪を差し込みカ強く押し倒すと、七日目にも連日となる関脇四季嶋と対戦。この一番でも右の押っ付けで相手の出足を止め、土俵際まで追い詰めるとそのまま寄り切りに破り横綱の意地を見せ1敗を堅守して優勝争いの先頭に立った。

綱乃花●（押し倒し）○春ノ翔

師匠の桐壺親方の心配を他所に、連日相手を寄せ付けない横綱相撲で好調さを維持。残り四日このまま一敗で千秋楽まで優勝戦線を引っ張っていきそうだ。

五日目までを一敗で凌ぎ追走している元大関のベテラン佐賀ノ海。ここまで得意の右差しと不利な体勢からも逆転で下して白星を重ね存在感を示す。

中日の若佑戦でも立ち会いですぐに左を差されるも、素早い反応を見せ引き落としに下すと続く七日目にも好調の新入幕大石丸相手に、立ち会いから左を差されそうになると首投げから肩に手をかけ、鋭く突き落としに破って一敗を守った。ベテランが得意の右差しでどこまで星を伸ばすのか？残り四日もその土俵を見守りたい。

佐賀海○（引き落し）●大石丸

新入幕ながら1敗では大健闘の若雲山、中日は全勝で先頭を走る若柱との一番。

過去の遺恨を嘆きながらも期待を寄せる鹿賀乃戸親方の声援を受け、立ち会い好調の若柱に先手を取ると周り込みながら左を差し寄り切って若柱に土をつける。

翌七日目は2敗の伊勢旭と対戦して、立ち会いから右を押っ付け終始攻め込んで素早く左を差すと下手投げを打ちながら最後は粘る相手を見事に寄り切って一敗を守り先頭に躍り出た。この相撲内容に『優勝だぁ！』との声も上がり、どこまで白星を重ねていけるか。

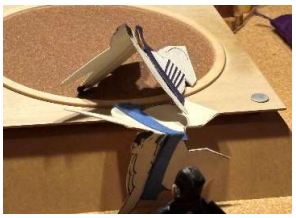
伊勢旭●（寄り切り）○若雲山

若ノ嶋は中日に苦手の鬼ヶ嶽に苦杯を喫したものの七日目は難敵夢ノ花をかろうじて叩き込んで5勝目。目標の勝ち越しまで白星あと一つとリーチをかけた。

若ノ嶋●（押し倒し）○鬼ヶ嶽

若ノ嶋○（叩き込み）●夢ノ花

2連敗の西神門は六歌仙、英筏を横綱相撲で連破して2敗を守り、逆転優勝を狙う。これから横綱総当たりがあるだけに西神門の逆転三連覇の可能性も十分にある。あと残り4日間の相撲に注目が集まる。



西神門○（寄り切り）●六歌仙

英　筏●（押し倒し）○西神門

一方で連勝し持ち直しが期待された大神楽だったが西勢里、鬼ヶ嶽に連敗して5敗となり、無念の休場となった。

一敗　春ノ翔、佐賀海、若雲山
二敗　若ノ嶋、西神門、鹿富士
剛勇山、越境山、鹿麒麟
若柱、龍不動、喜乃郷